

## 2026（令和8）年度入学試験問題

## 世界史

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題の本文は全部で28ページです。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
6. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
  - (1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。  
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
  - (2) 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下のマーク欄を正確にマークすること。  
マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
  - (3) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
  - (4) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
  - (5) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
  - (6) 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の(例)のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

(例) ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。



- I 以下の中国史に関する文章を読んで、〔設問1〕～〔設問20〕に答えなさい。解答は解答欄  ～  にマークしなさい。

後漢の末期には、各地に軍事集団が割拠して勢力争いを繰り広げた。220年に  が後漢の皇帝から「禅譲」という形で帝位を奪って魏を建てると、長江中下流域では孫権が呉を、四川では劉備が蜀（漢）を建てたので、後漢時代の支配領域は分裂し、三国が抗争を繰り返す三国時代に入った。

魏が263年に蜀を滅ぼした後、265年には魏の将軍であった  が「禅譲」によって皇帝となり晋（西晋）を建てた。晋は280年に呉を滅ぼして統一を果たしたが、 の死後に生じた皇位継承をめぐる皇帝一族の抗争は300年頃から激化し306年まで内乱状態が続いた。 と呼ばれるこの内乱のなかで、一般に「五胡」と総称される、強力な軍勢力として各陣営に参加した北方や西方の遊牧系諸集団の勢力が増大し、晋の支配力は衰えていった。4世紀初めに晋から自立した匈奴（南匈奴）の攻撃により、311年には晋の都である洛陽が、316年には長安が陥落し、晋（西晋）は滅んだ。この戦乱を  と呼んでいる。西晋は滅亡したものの、いち早く江南に逃れていた晋の皇帝一族である  が、三国呉の都であった  を改称して都とし、晋を復興して（東晋）、皇帝に即位した。

西晋の滅亡後100年以上にわたって、華北や河西回廊では遊牧系王朝の興亡が続いたため、 の拓跋氏が建てた北魏による華北統一に至るまでのこの時期は「五胡十六国時代」と称されている。北魏の第6代皇帝である （在位471～499年）は、平城から洛陽へ遷都し、 の伝統的な習俗や制度を漢人風に改めるなどの政策を進めて、 と漢人の融和による帝国支配の安定を図ったが、大きな反発と混乱を招いた。523年には、 が南下した後のモンゴル高原で強大化して北魏の支配から自立していた  への防備として北辺に設置されていた駐屯地の軍事集団が大規模な反乱を起こした。反乱は鎮圧されたものの、これをきっかけに北魏は分裂して滅び、東魏と西魏が成立した。6世紀半ばには、東魏は北斉に、西魏は北周に、それぞれ取って代わられた。 にかわってモンゴル高原で強大化した  との協力関係を築

いた北周は、北斉を征服して華北の再統一に成功した。華北に興亡した北魏・東魏・西魏・北斉・北周の5つの王朝を「北朝」と呼ぶ。

東晋は、西晋由来の皇帝・貴族層と江南の土着勢力の対立と融和のなかで100年余りの命脈を保ったが、北魏との軍事的対決を強いられる中で軍人層が台頭し、下層からのし上がった武将の [ 8 ] により420年に滅ぼされた。東晋滅亡後の江南（長江中下流域）で興亡した [ 9 ] の4つの王朝を「南朝」と呼び、これに先行する三国呉と東晋を加えて「六朝」と呼ぶこともある。

三国（魏・呉・蜀）から西晋・五胡十六国・北朝・東晋・南朝にかけての時代は、中国仏教や道教の形成・確立期であり、貴族層から庶民層に至る広範な階層で様々な宗教的活動が見られた。「北朝」と「南朝」は、どちらも仏教や道教の信仰や寺院造営などに熱心であった。

華北や河西回廊では、五胡十六国の時代から西域出身の訳経僧の盛んな活動があり、多くの仏典が漢訳された。北魏では、平城の近くの [ 10 a ] や洛陽に近い [ 10 b ] に、多くの仏像彫刻を有する大規模な石窟寺院が造られた。[ 10 a ] の巨大な仏像彫刻には北魏の皇帝をモデルにしたとされるものがあり、ガンダーラ様式・グプタ様式の影響も指摘されている。また、[ 10 b ] の石窟寺院では、唐代に至っても造営が続けられ、玄宗期の制作と推定される巨大な仏像も現存している。北魏では、寇謙之が確立した「新天師道」という道教の宗派が優勢となって仏教の弾圧が行われた時期もあったが、全体として見るならば仏教が優勢であった。

南朝では、多くの仏教寺院が造られ、仏教教理の研究も深められた一方で、道教の仙人への憧れも広がり、特に上層階級の文化においては、世俗にとらわれない高尚な精神性が称揚された。[ 11 a ] や [ 11 b ] の詩文や [ 11 c ] の絵画などが有名な例である。

北周の皇室の外戚で有力な武将であった [ 12 a ] は、「禪讓」を受けて皇帝に即位して隋を建て、589年には南朝最後の王朝を滅ぼして南北中国を統一した。隋は、老朽化した北周の都の隣に新たに [ 12 b ] を建設して首都とし（遺跡は現在の [ 12 c ] に位置する）、運河の開鑿さくを開始した。隋の第2代皇帝は、初代皇帝の事業を継承し、南北中国を結ぶ大運河を完成した。また、繰り返し

13 に遠征したが失敗し、経済的・軍事的負担に不満を抱いた各地勢力の反乱を招いた。最終的に、北方の駐屯地の軍事集団から台頭した李淵が隋を滅ぼし、唐を建てた。唐の第3代皇帝の 14 は、15 a を服属させて西域に進出し、15 b と結んで 13 と 15 c を滅ぼし、唐の最大版図を実現した。

統一帝国となった唐は、漢人からは「胡」とみなされていた 4 の拓跋氏の出身であり、北朝の諸王朝と強い連続性を有していた。そのため、南朝の文化や制度を取り入れながらも、その枠にはとどまらないスケールの大きな帝国となり、近隣諸国にも大きな影響を与えた。

8世紀半ばの安史の乱を経て唐の勢威は弱まり、節度使が辺境のみならず内地にも置かれるようになり、近隣諸国からの侵攻などの事態も生じた。9世紀後半の黄巢の乱による混乱が全国に拡大するなかで、黄巢軍から唐に帰順して節度使となっていた朱全忠によって唐は滅亡した(907年)。唐の滅亡後に黄河中流域で興亡した(朱全忠の建てた後梁を含めて)五つの王朝を「五代」、華中や華南に成立した十余りの国を「十国」と総称し、唐の滅亡から宋の統一に至るまでのこの分裂抗争の時代を「五代十国」と呼んでいる。

中央ユーラシアでは、9世紀半ばに、トルコ系の 18 a が同じくトルコ系の 18 b の攻撃によって打撃を受け西方に移動した後に、モンゴル系の 18 c が勢力を拡大し、10世紀初めには耶律阿保機に率いられて強大化した。その支配領域は、モンゴル高原全体などに広がったほか、「五代」の一つに数えられる王朝の建国に協力した見返りとして燕雲十六州を獲得した。宋は、燕雲十六州の奪回を図ってこれに戦いを仕かけたものの大敗し、毎年多額の銀や絹を贈る条件で和議を結んだ。

11世紀前半には、宋の西北部(現在の陝西・甘肅地域)にいたチベット系のタングートが勢力を拡大し、自立して 20 が皇帝を称し、国号を「大夏」としたが、宋からは「西夏」と呼ばれた。

〔設問1〕空欄    に入る人物名の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑧の中から一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① a 曹丕      b 司馬睿      c 司馬炎
- ② a 曹丕      b 司馬炎      c 司馬睿
- ③ a 曹丕      b 司馬光      c 司馬炎
- ④ a 曹丕      b 司馬炎      c 司馬光
- ⑤ a 曹操      b 司馬睿      c 司馬炎
- ⑥ a 曹操      b 司馬炎      c 司馬睿
- ⑦ a 曹操      b 司馬光      c 司馬炎
- ⑧ a 曹操      b 司馬炎      c 司馬光

〔設問2〕空欄   に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① a 六鎮の乱      b 永嘉の乱
- ② a 六鎮の乱      b 八王の乱
- ③ a 八王の乱      b 六鎮の乱
- ④ a 八王の乱      b 永嘉の乱
- ⑤ a 永嘉の乱      b 六鎮の乱
- ⑥ a 永嘉の乱      b 八王の乱

〔設問3〕空欄  に入る都市の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① 杭州      ② 寧波      ③ 建業      ④ 南京      ⑤ 建康

〔設問4〕空欄  に入る集団の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① 羌      ② 羯      ③ 氐      ④ 鮮卑      ⑤ 大月氏

〔設問5〕空欄 **5** に入る皇帝の名称はどれか。もっとも適するものを次の

①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **5** にマークしなさい。

- ①武帝 ②光武帝 ③孝文帝 ④太武帝 ⑤文帝

〔設問6〕下線部(6)があった地域に相当する現在の都市の名はどれか。もっとも

適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **6** にマークしなさい。

- ①西安 ②重慶 ③北京 ④成都 ⑤大同

〔設問7〕空欄 **7 a** と **7 b** に入る遊牧集団の組み合わせとして正しい

ものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 **7** にマークしなさい。

- ① a 柔然      b 突厥  
② a 柔然      b 東匈奴  
③ a 突厥      b 柔然  
④ a 突厥      b 東匈奴  
⑤ a 東匈奴    b 突厥  
⑥ a 東匈奴    b 柔然

〔設問8〕空欄 **8** に入る人物名はどれか。もっとも適するものを次の①～

⑥の中から一つ選び、解答欄 **8** にマークしなさい。

- ①張儀 ②張居正 ③王建 ④王安石 ⑤劉裕 ⑥劉永福

〔設問9〕空欄  に入る4つの王朝の名称を成立の古い順に並べた組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① 梁 → 宋 → 齊 → 陳
- ② 梁 → 齊 → 宋 → 陳
- ③ 梁 → 陳 → 宋 → 齊
- ④ 宋 → 齊 → 梁 → 陳
- ⑤ 宋 → 梁 → 齊 → 陳
- ⑥ 宋 → 陳 → 梁 → 齊

〔設問10〕空欄   に入る地名の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① a 竜門      b 敦煌
- ② a 竜門      b 雲崗
- ③ a 雲崗      b 敦煌
- ④ a 雲崗      b 竜門
- ⑤ a 敦煌      b 雲崗
- ⑥ a 敦煌      b 竜門

〔設問11〕空欄    に入る人物名の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ① a 陶淵明      b 柳宗元      c 呉道玄
- ② a 陶淵明      b 謝靈運      c 顧愷之
- ③ a 陶淵明      b 謝靈運      c 呉道玄
- ④ a 韓愈          b 謝靈運      c 顧愷之
- ⑤ a 韓愈          b 柳宗元      c 呉道玄
- ⑥ a 韓愈          b 柳宗元      c 顧愷之

〔設問12〕 空欄 **12a** **12b** **12c** に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑧の中から一つ選び、**解答欄**

**12** にマークしなさい。

- ① a 楊堅      b 大興城      c 西安
- ② a 楊堅      b 大興城      c 開封
- ③ a 楊堅      b 長安        c 西安
- ④ a 楊堅      b 長安        c 開封
- ⑤ a 楊炎      b 大興城      c 西安
- ⑥ a 楊炎      b 大興城      c 開封
- ⑦ a 楊炎      b 長安        c 西安
- ⑧ a 楊炎      b 長安        c 開封

〔設問13〕 空欄 **13** に入る国名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **13** にマークしなさい。

- ①高麗      ②高句麗      ③朝鮮      ④渤海      ⑤衛氏朝鮮

〔設問14〕 空欄 **14** に入る皇帝の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **14** にマークしなさい。

- ①徽宗      ②玄宗      ③太宗      ④欽宗      ⑤高宗

〔設問15〕 空欄 **15a** **15b** **15c** に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、**解答欄** **15** にマークしなさい。

- ① a 女真      b 新羅        c 百濟
- ② a 女真      b 百濟        c 新羅
- ③ a 西突厥    b 新羅        c 百濟
- ④ a 西突厥    b 百濟        c 新羅
- ⑤ a 東突厥    b 新羅        c 百濟
- ⑥ a 東突厥    b 百濟        c 新羅

〔設問16〕 下線部(16)に関連して、漢字などの中国文化を取り入れ、8世紀半ばに雲南で勢力を広げた国の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **16** にマークしなさい。

- ①吐蕃 ②真臘 ③南詔 ④吐谷渾 ⑤大理

〔設問17〕 下線部(17)に関連して、「五代」に含まれない王朝の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **17** にマークしなさい。

- ①後唐 ②後金 ③後晋 ④後漢 ⑤後周

〔設問18〕 空欄 **18 a** **18 b** **18 c** に入る民族集団の名称の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 **18** にマークしなさい。

- ① a キルギス    b ウイグル    c キタイ  
 ② a キルギス    b キタイ    c ウイグル  
 ③ a キタイ    b キルギス    c ウイグル  
 ④ a キタイ    b ウイグル    c キルギス  
 ⑤ a ウイグル    b キルギス    c キタイ  
 ⑥ a ウイグル    b キタイ    c キルギス

〔設問19〕 下線部(19)に関連して、この地域に相当する現在の中国の地域はどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 **19** にマークしなさい。

- ①河北省および湖北省北部  
 ②河南省および湖北省北部  
 ③河北省および山西省北部  
 ④河南省および山西省南部  
 ⑤湖北省および山西省北部  
 ⑥湖北省および山西省南部

〔設問20〕 空欄 **20** に入る人物名はどれか。もっとも適するものを次の①～

⑤の中から一つ選び、解答欄 **20** にマークしなさい。

①耶律大石    ②大祚榮    ③李元昊    ④完顔阿骨打

⑤ソンツェン=ガンボ

- II 以下のコロンブス交換に関する文章を読んで、〔設問21〕～〔設問35〕に答えなさい。解答は解答欄 **21** ～ **35** にマークしなさい。

1492年のコロン (コロンブス) による大西洋横断航海を契機として、いわゆる<sup>(21)</sup>コロンブス交換が始まった。コロンブス交換とは、旧大陸に存在しなかった新大陸の植物などが旧大陸へもたらされたり、新大陸で未知だったものが旧大陸からもたらされたりしたことを指す用語である。

コロンブス交換によって新大陸から旧大陸に伝わった植物種は実に多く存在する。現在の日本においても、公園や庭園などに見られる花々のかなりの部分がアメリカ大陸原産である。例えば、日本の秋を彩るコスモス、クリスマスに欠かせないポインセチアはアメリカ由来の植物である。ほかに、<sup>(22)</sup>メキシコの国花であるダリア、<sup>(23)</sup>ペルーの国花であるヒマワリ、メキシコの死者の日の飾りに欠かせないマリーゴールド、さらにはネモフィラ、ジニアなどもアメリカ大陸に由来する。

新大陸から旧大陸に伝えられたものの中には、旧大陸各地の食文化に劇的な変化をもたらしたものも存在する。ジャガイモはその典型例の一つである。南米のアンデス文明圏で古くから食されていたこの作物は、おそらくは16世紀後半にスペインにもたらされたと考えられており、そこからヨーロッパ諸国に広まった。例えば、イギリス帝国支配下のアイルランドでは、ジャガイモ栽培がとりわけ拡大し、貧しい人々の食生活を支えた。その結果、1840年代のジャガイモの疫病による不作では、アイルランドの人々に甚大な被害を及ぼすことにもつながったのはよく知られている。ロシアでは、17世紀に<sup>(24)</sup>ピョートル1世がオランダ経由でジャガイモを導入したとされる。これがロシア国内で普及するには時間を要したものの、この国の東進に伴い、その栽培は20世紀までに大幅に広がった。また、イギリスのほか<sup>(25)</sup>オーストラリアなどかつてイギリスの植民地だった地域で広く食されるフィッシュ-&-チップスのチップス (ポテトフライ)、ドイツの様々な料理の付け合わせのジャガイモやジャーマン-ポテト、アメリカ合衆国の国民食とも言われるハンバーガーのサイドメニューに欠かせないフライドポテトなど、ジャガイモの伝播は現代の食文化にも大きく影響している。

ジャガイモ以外にも、世界の国々において現在の国民食とされていたり、あるいは地域を代表するような特産品や料理を見ると、コロンブス交換を契機として広まったものは多く存在する。例えば、チリトウガラシもコロンブス交換によってアメリカ大陸から旧大陸へもたらされたものの一つである。<sup>(26)</sup>朝鮮半島に伝播した経緯については諸説あるものの、キムチやチゲなどの料理に欠かせない辛味を与えるこの食材は、大航海時代におけるヨーロッパとアメリカ住民の接触前にはこの地域に存在していなかった。

トマトもそうした作物の一つである。いくつかのヨーロッパ言語では「金のリング」(例えば、イタリア語pomodoro)と呼ばれるが、スペイン語や英語などでの呼称(スペイン語tomate, 英語tomato)は、この語そのものがアステカの人々の言語(ナワトル語xitomatl)に由来し、果実の名称までもが新大陸からもたらされた例と言える。なお、トマトは、当初は有毒と考えられたため、観賞用の植物に過ぎなかったが、やがてイタリアの貧困層を中心に食用化が進み、現代イタリア料理に欠かすことができない「トマトソース」が誕生することとなった。<sup>(27)</sup>

世界の食文化を大きく変えたという点で忘れてはならないものには、チョコレートの原料となるカカオもある。<sup>(28)</sup>アステカやマヤの人々が飲用に供していたカカオ豆は、砂糖が加えられたホットチョコレートとして、スペインの王室や教会関係者などの間での流行を経てヨーロッパ各地に広まった。時代が下り、ヨーロッパでは、王室に菓子を献上する職人らの努力によってやがて固形のチョコレート、さらにはその固形チョコレートに牛乳を混ぜ込んだミルクチョコレートが開発された。<sup>(29)</sup>フランスやイタリア、ベルギーなどヨーロッパに有名なチョコレート製造業者が多いのは、こうした歴史的経緯を背景としているからである。

当然ながら、コロンブス交換の影響は日本にも及んだ。例えば、現在では落花生は千葉県の名産品、トウモロコシは北海道で多く栽培されるものとして知られるが、これらはいずれも1492年よりも後にアメリカ大陸の外部に伝播したものである。さらに、現在では健康への影響が声高に叫ばれているものの、長らく世界中で嗜好品として愛されたタバコもアメリカ大陸原産である。日本へのタバコの伝来については諸説あるものの、<sup>(30)</sup>鉄砲伝来と同じころにもたらされたのではないかとも考えられている。南蛮人の到来後、キリシタン禁教を経て、「鎖国」<sup>(31)</sup>が実

施された江戸時代においても、既に伝来していたタバコは、嗜好品として独特の文化を展開させた。

以上のように、アメリカ大陸原産の作物等が伝播したことで、旧大陸各地ではさまざまな「食の革命」が起こった。その一方で、アメリカ大陸にもそれまで存在していなかった多様な動植物などが持ち込まれ、現地の生活や文化に大きな変化をもたらした。

ユネスコ無形文化遺産にもなっているメキシコ料理を例に見てみよう。メキシコ料理の代表格であるタコス<sup>(32)</sup>は、トルティーヤ（トルティーヤ）の上に具材をのせたもので、トルティーヤを巻いたりふたつ折りのような形にしたりして食される。トウモロコシ粉を主原料とするトルティーヤは、古代メソアメリカ文明のころからメキシコや中米の人々の主食であった。その一方、現代メキシコのタコスによく見られる牛肉や豚肉といった具材は、16世紀にメキシコを征服したスペイン人<sup>(33)</sup>がもたらした肉食文化に由来する。スペインに征服される直前のアステカ社会には、犬（無毛犬）や七面鳥のような家畜しかいなかったが、スペイン支配とともに牛、豚、鶏、羊などがもたらされ、やがて食肉として普及していった。タコスには各種のサルサ（スペイン語で「ソース」の意）が欠かせないが、サルサにはトマトやアボカドなどにチリトウガラシを加えたものが多く、これらはいずれもアメリカ大陸原産の食材である。また、現代のタコスにはコリアンダー（パクチー、香菜）がトッピングされるのが一般的だが、こちらは地中海沿岸ないしは小アジア辺りが原産地だとされ、旧大陸由来の食材である。

このように、メキシコでは古代から食されていたトルティーヤと具材の組み合わせという食べ方が継続しながらも、コロンブス交換を経て具材部分には大きな変化が生じた。つまり、トウモロコシは21世紀においても主食であり続けている一方で、16世紀以降のヨーロッパとの接触の結果、牛肉や豚肉といった具材、コリアンダーのトッピングといった旧大陸由来の食材も現在では欠かせないものになっているのである。

コロンブス交換がもたらしたのは、必ずしも人々の生活にプラスの影響を与えるものばかりではなかった。なかには人間の生活に深刻な被害をもたらすものもあった。旧大陸から新大陸へ意図せず<sup>(34)</sup>に持ち込まれた疫病は、その最たるもので

ある。天然痘、インフルエンザなどは、アメリカ大陸先住民人口の激減という、人類史上、未曾有の悲劇をもたらした。例えば、メキシコやグアテマラでは、征服から100年足らずのうちに先住民人口は10分の1から20分の1程度にまで激減した。また、カリブ海の島々<sup>(94)</sup>では、先住民が絶滅したという事例まであった。コロンブス交換という表現は、20世紀後半にアメリカ合衆国の歴史研究者が提唱したものだが、このような負の側面を考慮すると、対等な印象を与えかねない「交換」という表現は、誤解を招く可能性のあることに留意する必要があるだろう。実際、西洋による現地住民の搾取<sup>(95)</sup>という不平等な力関係の中で進んだのが「コロンブス交換」だったのだから。

〔設問21〕 下線部(2)に関連して、この航海は、スペインの港を出発し、およそ2か月半後にカリブ海の島に到達したというものであった。この時の出港地の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **21** にマークしなさい。

- ①セウタ    ②サン-サルバドル    ③パロス    ④セビーリャ  
⑤サンティアゴ-デ-コンポステーラ

〔設問22〕 下線部(2)に関連して、この国では、長期にわたる独裁的政権への反発から、20世紀初頭に民主的革命運動が起こった。この革命において農民運動を指導し、「土地と自由」を主張して農地改革を求めた人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **22** にマークしなさい。

- ①シケイロス    ②ディアス    ③カルデナス    ④フアレス    ⑤サパタ

[設問23] 下線部(23)に関連して、この国は1821年に独立を宣言した。この宣言に立ち会った人物で、ラプラタ地域（後のアルゼンチン）やチリの独立にも尽力した独立運動家の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **23** にマークしなさい。

- ①サン=マルティン      ②トゥサン=ルヴェルチュール  
③シモン=ボリバル      ④ホセ=リサール      ⑤イダルゴ

[設問24] 下線部(24)に関連して、この人物の事績として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **24** にマークしなさい。

- ①極東に領土を拡大し、清との国境を定めた。  
②新首都ペテルブルクを築いた。  
③バルト海地域への進出を図った。  
④オスマン帝国からクリミアを奪取した。

[設問25] 下線部(25)に関連して、17～19世紀のオーストラリアに関する記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **25** にマークしなさい。

- ①オランダのタスマンは17世紀前半の航海でオーストラリア沿岸に達した。  
②19世紀半ばにオーストラリアで金鉱が発見されると移民の流入が増加した。  
③イギリスの軍人クックは、18世紀後半の航海でオーストラリア領有を宣言した。  
④オーストラリアの領有に際し、イギリスは現地住民マオリ人の抵抗を武力で抑えた。

[設問26] 下線部(26)に関連して、この地域の歴史についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、**解答欄** **26** にマークしなさい。

- ① 4世紀、この半島の南部では東に百済、西に新羅が成立した。
- ② 15世紀前半の世宗の時代には、金属活字による出版や訓民正音の制定が行なわれた。
- ③ 16世紀後半、日本の統一を進めた織田信長は朝鮮に侵攻した。
- ④ 第二次世界大戦後、北部では金正日を首相とする朝鮮民主主義人民共和国が建国された。

[設問27] 下線部(27)に関連して、19世紀半ば以降、サルデーニャ王国を中心にイタリアの統一が進むこととなった。1861年にイタリア王国が成立した際にその王位に即いた人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **27** にマークしなさい。

- ① カヴール      ② マクシミリアン      ③ ヴィットーリオ=エマヌエーレ 2世
- ④ マッツイーニ      ⑤ ガリバルディ

[設問28] 下線部(28)に関連して、15世紀前半に成立したアステカ王国は、1世紀足らずの間に急速に版図を拡大した。メシーカ人が居住したこの王国の中心都市の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **28** にマークしなさい。

- ① クスコ      ② チャンチャン      ③ テオティワカン      ④ チチェン=イツァ
- ⑤ テノチティトラン

[設問29] 下線部(29)に関連して、フランスにおける作者の名と作品（絵画や著作）の名の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の

①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **29** にマークしなさい。

- ①モンテーニュ — 『百科全書』
- ②ゴーガン — 「タヒチの女たち」
- ③パスカル — 『方法序説』
- ④ルノワール — 「石割り」
- ⑤モンテスキュー — 『社会契約論』

[設問30] 下線部(30)に関連して、日本に鉄砲（火縄銃）が伝わったことによって、戦国大名の戦術に大きな変化が起きたとされる。1543年にポルトガル人が漂着し、鉄砲が伝わったとされる島の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **30** にマークしなさい。

- ①八丈島    ②硫黄島    ③奄美大島    ④対馬    ⑤種子島

[設問31] 下線部(31)に関連して、この時期、江戸幕府は出島を出入口として、とある西ヨーロッパの国と通商を行なった。この国についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **31** にマークしなさい。

- ①名誉革命により、1689年にイギリスとの同君連合となった。
- ②17世紀前半、イギリスとの戦争の結果、現在ニューヨークとなっている北米東岸の拠点を失った。
- ③マカオに拠点を築いたものの、1661年に鄭成功に敗れて撤退した。
- ④1581年にフランスからの独立を宣言した。

[設問32] 下線部(32)に関連して、これは国際連合の専門機関である。国際連合についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **32** にマークしなさい。

- ①ダンパートン-オークスでの会議の原案がサンフランシスコ会議で採択されて1945年に発足した。
- ②原加盟国は51か国で、スイスのジュネーヴに本部が置かれた。
- ③安全保障理事会の常任理事国である5つの国には拒否権が与えられた。
- ④1948年の第3回総会では、人種・性・宗教などによる差別を禁止した世界人権宣言が採択された。

[設問33] 下線部(33)に関連して、こうしたスペイン人征服者を指す用語はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **33** にマークしなさい。

- ①メスティーツ      ②ペニンスラール      ③クリオーリョ
- ④コンキスタドール      ⑤ムラート

[設問34] 下線部(34)に関連して、スペインが当初から植民地化を進めた島の一つにプエルトリコがある。この島がスペイン領でなくなることが決まった年はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **34** にマークしなさい。

- ①1648年      ②1714年      ③1804年      ④1898年      ⑤1945年

[設問35] 下線部(35)に関連して、スペインがアメリカ植民地に導入した制度にエンコミエンダがある。この制度の廃止を王室に働きかけるとともに、植民地の先住民の惨状を訴える小冊子を著した修道士の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **35** にマークしなさい。

- ①トスカネリ      ②グロティウス      ③ラス=カサス      ④トマス=モア
- ⑤エラスムス

Ⅲ 以下の古代から中世への転換期に関する文章を読んで、〔設問36〕～〔設問50〕に答えなさい。解答は解答欄 **36** ～ **50** にマークしなさい。

北イタリアの古都ラヴェンナは、色鮮やかなモザイク画を特徴とする建築・美術様式<sup>(36)</sup>によって彩られた数多くの聖堂をいまに残す美しい町である。一度でもこの地を訪れた者は、幾重にも歴史が折り重なったその姿にかならずや魅了されることだろう。実際ラヴェンナの都市としての歴史は古く、いまから2000年以上も昔へさかのぼるといふ。はじめ、カエサル<sup>(37)</sup>が、東地中海域に展開するローマ艦船の基地として、クラシス港と呼ばれる波止場の建設・整備を開始した。そののち、カエサルの後継者となったアウグストゥス<sup>(38)</sup>もまた、近くにローマ海軍の拠点<sup>(38)</sup>を置いている。こうした港と都市は運河によって密接に結ばれ、海運の中心地として、ローマ時代すでにラヴェンナは大いに発展していた。それはちょうど中世イタリアのヴェネツィア<sup>(39)</sup>を彷彿<sup>ほうふつ</sup>とさせる姿であり、中世においてラヴェンナはまた、イタリアを代表するもうひとつの都市とも浅からぬ関係をもった。というのも、1265年、フィレンツェ<sup>(40)</sup>で生まれたダンテは、亡命を余儀なくされるとラヴェンナへ逃れ、代表作『神曲』<sup>(41)</sup>を書いたとされているからである。ダンテはその後の生涯を通じ、祖国フィレンツェへ戻ることなく、当地で亡くなった。そのため彼の墓は現在もラヴェンナ市内に置かれている。

さて、ここで時間を少し巻き戻し、古代末期、あるいは古代から中世への転換期にラヴェンナで生き、この地に深く名を刻むこととなった皇女の話へと移っていきこう。そもそも、われわれは「彼女」をいったいどのように呼べばよいのだろうか。というのも、以下で紹介するガッラ=プラキディアは、コンスタンティヌス帝<sup>(42)</sup>によって新たに開かれた都で、テオドシウス帝と2番目の妻、同名の妃ガッラとの間に生まれたひとり娘である。しかし、歴史の偶然から、やがてゲルマン人の夫に嫁ぐと、その死後にはふたたびローマ側へと戻され、新たな結婚により誕生した息子はヴァレンティニアヌス3世として皇帝の地位に就くこととなるからである。こうしてガッラ=プラキディアは、まずはなにより偉大な皇帝テオドシウスの娘すなわち「皇女」であって、かつゲルマン人の王の妻となって「王妃」とされ、さらに言えば、皇帝の母いわゆる「皇太后」としても、この時期の

歴史に大きくかかわる人物だからである。数奇な運命をたどった彼女の生涯を少しばかり立ち入って見てみることにしよう。

ガッラ=プラキディアの誕生をめぐっては、ときの皇帝の娘であるにもかかわらず、日付はもとより正確な年すらよくはわかっていないのだという。父であるテオドシウスは、軍人としてきわめて長けた存在であり、ローマ領内へしきりと侵入を繰り返すゲルマン人をよく抑えた。その一方、<sup>(43)</sup>フン人の圧迫から逃れようと376年に 44 川を渡り、保護を求めて帝国領内に流れ込んだゴート人に対しては定住を認めるなど、融和策もとった。テオドシウス以前よりすでに見られた傾向であったが、ゲルマン人自身もまたローマ社会に次第に溶け込むようになっていたに違いない。父帝はさらに、<sup>(45)</sup>キリスト教を国教とする施策をおし進めており、おそらくガッラ=プラキディアは誕生のときから、帝国に根を下ろしたキリスト教文化と深く交わるとともに、多様な人々の行きかう宮廷で、皇女としてふさわしい教育を施されていったのだろう。その父が、当時西の都であったミラノで亡くなったとき、皇女はまだ幼く、5歳ほどであったと想像される。皇帝テオドシウスの死をもって帝国が2つに分かれたことはよく知られるが、それによりガッラ=プラキディアはさらに、アルカディウスとホノリウスという東西それぞれの皇帝の「異母妹」というきわめてデリケートな立場に立つことにもなったのである。

ガッラ=プラキディアの物語を語るには、もうひとり重要な人物を登場させなければならない。ゲルマン人でありながらテオドシウスのもとで要職を歴任した將軍スティリコである。ヴァンダル人の父とローマ人の母との間に生まれたと伝わるスティリコは、このときローマ軍の最高司令官であり、かつテオドシウスが養女として迎えた姪セレナの夫でもあった。テオドシウス帝の亡きあと、ガッラ=プラキディアはスティリコ夫妻に見守られつつ、父を見送ったミラノの宮廷で成長していく。そうして、しばらくは比較的平穏な生活が続いたのではないだろうか。事態が急を告げるのは、アラリック王に率いられ、<sup>(46)</sup>バルカン半島を荒らしていた西ゴート人がイタリアへ侵入を開始するとの知らせが届いたときである。これを聞いた西の皇帝ホノリウスは、さっそく都をミラノからラヴェンナに移すことを決めた。防御の点で、きわめてすぐれた地理的条件に恵まれていたからで

ある。ラヴェンナは典型的な方形様式の要塞都市であり、先に紹介した軍港を近くにもつうえ、籠城戦に耐えうる備えもまた十分であった。生涯の多くを過ごすこととなるラヴェンナの町とガッラ=プラキディアとの深い関係はこうして始まった。噂はやがて真実となり、イタリアに侵攻を開始した西ゴート人はローマへ迫ると、47には都市を占領し、略奪した。この危機のとき、ガッラ=プラキディアは偶然にもローマに滞在していた。戦費をめぐる交渉のため、ローマへ赴いたステイリコにしたがったものと想像される。だが、事実上の後見人であり最大の保護者であった將軍ステイリコは、周囲の妬みにあって皇帝ホノリウスに疎まれ、処刑されてしまう。目まぐるしい展開に有効な術を見いだすこともできず、ラヴェンナへ逃れる道もまた失われたようである。ガッラ=プラキディアは、こうして、ローマ市を占領した西ゴート人の捕虜となった。アラリックは戦勝の勢いのままにシチリアへ勢力拡大を狙ったが、これはうまくゆかず、自身が病に倒れると、まもなく亡くなった。アラリックには子がなかったため、義弟アタウルフが後継の王となり、そして、このアタウルフこそガッラ=プラキディアが最初の夫とした人物である。

ローマ帝国の皇女として生まれ、宮殿に暮らしたガッラ=プラキディアの当時の思いを推し量ることは容易ではない。その後につづく5年あるいは6年ほどを、西ゴート人とともに移動して暮らすこととなった。だが、息子と夫の相次ぐ死により、人質としての生活も終わりを告げる。西ゴート人は長い移動の末、やがて南ガリアからイベリア半島の大半を支配する王国を建設するが、部下によって暗殺されたというアタウルフはむしろそれを見ていない。歴史に「もし」はないと言われるが、ゴート人とローマ人とをつなぐ存在となり得たかもしれない、その祖父と同じ「テオドシウス」と名づけられた子もまた、夫アタウルフの死に先立って<sup>ようせい</sup>天逝した。おそらく水面下ではローマ側と幾度もの交渉が重ねられたのだろう。ついに解放されたガッラ=プラキディアは、異母兄であり西の皇帝でもあるホノリウス帝のもとへ戻ると、間もなく2度目の結婚をしている。新たな夫コンスタンティウスとのあいだに娘と息子を得たプラキディアは、その息子がやがてヴァレンティニアヌス3世として帝位につくことで、ついに「皇太后」と呼ばれる存在となっていく。同時にまた西の都ラヴェンナも彼女の町となったわけ

である。即位当時わずか4歳ほどであったという幼帝ヴァレンティニアヌスにかわり、ガッラ=プラキディアはこの町でさまざまな事業を成し遂げていった。

ラヴェンナとガッラ=プラキディアとの関係を最も強く印象づけるのは、彼女の名を冠した霊廟の姿であろう。廟内にはキリスト教に象徴的な鳩やよき羊飼いの像、殉教をあらわすとされる燃え上がる炎や、さらにはイエスの言行録を記したとされる使徒らの名前が見て取れる。モザイク画によって無数の星を描いた天井は、ろうそくの光に揺らめき、類まれな美しさをつくりだしたことだろう。皇帝の母として25年あまりを過ごしたガッラ=プラキディアはこの町に実に多くの教会や礼拝堂を残している。だが、内部に大きな石棺の置かれたいわゆる「ガッラ=プラキディア廟」に彼女自身が眠っているわけではない。古代から中世への転換期を生きたひとりの女性は、いにしへの都ローマでその生涯をとじ、キリスト教徒としてローマに葬られた。自らの死を予感していたのだろうか、西ゴートの王との間に誕生した息子の遺骸をひそかに身近な場所へと運ばせていたらしい。両者をともに同じ霊廟へ葬ったのは、母の町ラヴェンナからふたたびローマを帝国の都と決めたヴァレンティニアヌス3世であったと言われる。

ガッラ=プラキディアを失ったラヴェンナは、その後、幾人もの支配者の手を経ながら、6世紀、いまに名を残す偉大な皇帝の統治下へと入った。われわれがしばしば目にするこの皇帝の姿もまたラヴェンナのサン-ヴィターレ聖堂にモザイク画によって描かれたものなのである。

[設問36] 下線部(36)に関連して、次のA～Cの説明文にあてはまる建築・美術様式の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 **36** にマークしなさい。

- A) 11世紀頃、南フランス・イタリアから西欧に広がった様式で、石造天井を支える厚い壁と列柱、小さな窓を特徴とする。
- B) 12世紀頃、北フランスから西ヨーロッパに広がった様式で、高い塔と尖頭アーチ、ステンドグラスで飾られた窓を特徴とする。
- C) 17世紀から18世紀初めまで西欧で隆盛した様式で、その名称はゆがんだ真珠の意とされ、動的で豪華な表現を特徴とする。

- ①Aゴシック      Bロマネスク      Cバロック  
 ②Aバロック      Bゴシック      Cロマネスク  
 ③Aロマネスク      Bゴシック      Cバロック  
 ④Aゴシック      Bバロック      Cロマネスク  
 ⑤Aバロック      Bロマネスク      Cゴシック  
 ⑥Aロマネスク      Bバロック      Cゴシック

[設問37] 下線部(37)に関連して、次に挙げるのは「内乱の1世紀」のうちカエサルの独裁にいたるまでの主な出来事である。これらを起こった順に古いほうから並べたとき、3番目にあたる出来事はどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **37** にマークしなさい。

- ①カエサルのガリア遠征  
 ②グラックス兄弟の改革  
 ③剣闘士スパルタクスの反乱  
 ④第1回三頭政治の成立

[設問38] 下線部(38)に関連して、「アウグストゥス」とは前27年に元老院からオクタウィアヌスに贈られる尊称である。そのオクタウィアヌスが、前31年にアントニウスとクレオパトラの連合軍を撃破した戦いが行なわれたのはどこか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **38** にマークしなさい。

※地図については著作権の関係により掲載できません。

[設問39] 下線部(39)に関連して、この都市が関与した13世紀初頭の十字軍遠征についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **39** にマークしなさい。

- ①教皇ウルバヌス2世が提唱して行なわれた十字軍であった。
- ②遠征によって聖地イェルサレムを奪還することに成功した。
- ③十字軍の指揮官を初代皇帝とするラテン帝国が建てられた。
- ④遠征にはドイツ・フランス・イングランドの王も参加した。

[設問40] 下線部(40)に関連して、13世紀～14世紀における、この都市についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **40** にマークしなさい。

- ①この都市の内部では、皇帝党（ギベリン）と教皇党（ゲルフ）との対立が激化した。
- ②イタリア戦争の混乱を背景に、この都市出身のマキアヴェリが「君主論」を著わした。
- ③皇帝のイタリア政策に対抗し、この都市を盟主とするロンバルディア同盟が結成された。
- ④この都市で反メディチの改革を訴えたジョルダナーノ＝ブルーノは、火刑に処された。

[設問41] 下線部(41)に関連して、この作品にはダンテ本人が登場し、地獄・煉獄をめぐり天国へ至る経路が描かれている。作品中でダンテを導いていく、ローマ建国をうたった叙事詩を著わしてローマ最大の詩人とされた人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **41** にマークしなさい。

- ①ウェルギリウス    ②キケロ    ③セネカ    ④トゥキディデス
- ⑤リウィウス

[設問42] 下線部(42)に関連して、この皇帝の外政および内政についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、**解答欄** **42** にマークしなさい。

- ① 2人の正帝と2人の副帝による四帝分治制（テトラルキア）を導入し、官僚制を強化した。
- ② 徴税のためにコロヌスの移動を禁じ、都市でも住民の職業を固定して世襲化しようとした。
- ③ カルケドン公会議を開催し、三位一体説を否定する単性論派を異端として排除した。
- ④ 純度の高いディーナール金貨を発行し、混乱していた通貨制度の立て直しをはかった。

[設問43] 下線部(43)に関連して、フン人は5世紀末、「パンノニア」に帝国を築いたとされる。9世紀末にその「パンノニア」へと進出し、10世紀末にはキリスト教を受け入れつつ同地に定住して王国を築いていったウラル語系の人々の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **43** にマークしなさい。

- ① アヴァール人    ② チェック人    ③ ブルガール人    ④ マジャール人
- ⑤ ルーマニア人

[設問44] 空欄 **44** に入る川の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **44** にマークしなさい。

- ① エルベ    ② セーヌ    ③ ドナウ    ④ ライン    ⑤ ローヌ

[設問45] 下線部(45)に関連して、キリスト教とフランク王国との関係についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **45** にマークしなさい。

- ①フランク人の王クローヴィスは、ランスの司教レミギウスによって洗礼を受け、アタナシウス派に改宗した。
- ②カロリング朝の宮宰カール=マルテルは、トゥール=ポワティエ間の戦いでナスル朝軍に勝利し、キリスト教世界を守った。
- ③戴冠によりローマ教会の守護者となったカール大帝は、ビザンツ皇帝レオン3世に聖像禁止令を撤回させた。
- ④東フランクで国王に選出されたハプスブルク家のオットー1世は、教会組織を王権の統制下に置く領邦教会制をとった。

[設問46] 下線部(46)に関連して、20世紀はじめのこの半島をめぐる情勢についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **46** にマークしなさい。

- ①帝国主義列強間の競合により深刻化するバルカン半島の激しい民族対立を称して、ホップズは「万人の万人に対する闘い」と呼んだ。
- ②ロシアの後押しを得て、アルバニア・マケドニア・モンテネグロ・ギリシアが反オスマンの軍事同盟である「バルカン同盟」を結んだ。
- ③オスマン帝国で起こった青年トルコ人革命に乗じてオーストリアがボスニア・ヘルツェゴビナを併合すると、セルビアは強く反発した。
- ④オスマン帝国の支配から脱しようとしてギリシア独立戦争が起こると、バルカン半島へ勢力拡大をはかるオーストリアはこれを支援した。

[設問47] 空欄 **47** に入る、ローマ市が占領、略奪された年はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **47** にマークしなさい。

- ①392年    ②395年    ③410年    ④418年    ⑤476年

[設問48] 下線部(48)に関連して、イエスとその教えについての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、**解答欄** **48** にマークしなさい。

- ①イエスはみずからをマフディー（救世主）と人をつなぐバープ（門）であると称し、神の国の到来が近いことを唱えた。
- ②ユダヤの支配層が反逆者としてイエスをローマの属州総督に訴えたため、イエスは総督ピラトによって十字架にかけられ処刑された。
- ③キリスト教の信者はイエスの教えに反するとしてユダヤ教の聖典『旧約聖書』を否定したため、紀元後1世紀までに『新約聖書』がまとめられた。
- ④エルサレム・アンティオキア・アレクサンドリア・エフェソスおよびコンスタンティノーブルが、五本山として教義をめぐる論争の中心地となった。

[設問49] 下線部(49)に関連して、オドアケルを排除し、ラヴェンナを都として493年に王国を建てた人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **49** にマークしなさい。

- ①アッティラ    ②エグバート    ③テオドリック    ④ピピン
- ⑤リユーリク

〔設問50〕 下線部(50)に関連して、聖堂内に描かれているこの皇帝についての叙述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **50** にマークしなさい。

- ①ローマ法は、この皇帝の命令で法学者トリボニアヌスらにより『ローマ法大全』として集成され、近代へと受け継がれた。
- ②この皇帝の時代に起こったタラス河畔の戦いで、捕虜となった唐の紙すき職人から製紙法がはじめて西方へ伝えられた。
- ③キエフ公国の大公ウラディミル1世は、この皇帝の妹と結婚してギリシア正教を国教と定め、カトリック勢力に対抗した。
- ④この皇帝の時代にギリシア語が公用語とされ、スラヴ人をギリシア正教に改宗させる目的でキリル文字も考案された。